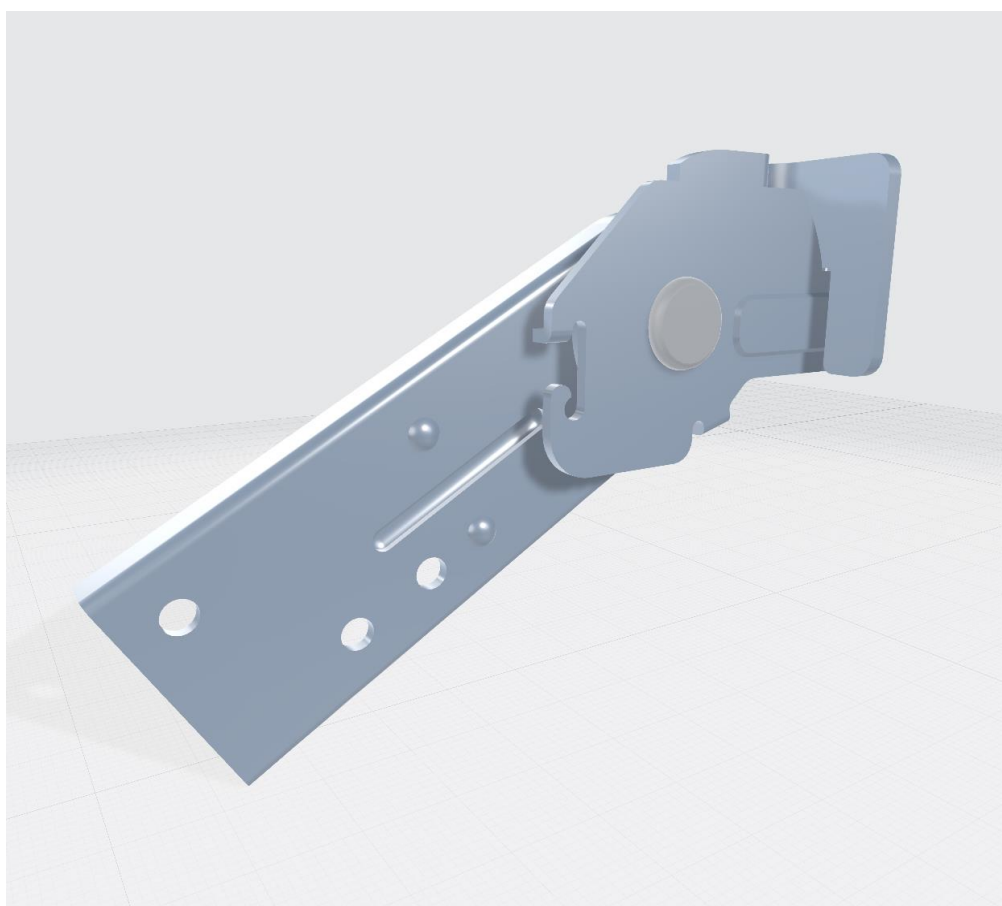


MCブレースII

標準施工要領書



INDEX

取扱注意事項	・ ・ ・ ・	1
施工上の注意事項	・ ・ ・ ・	1
1. 適用範囲	・ ・ ・ ・	2
2. 各部の名称・種類、構成部材		
2-1 各部の名称	・ ・ ・ ・	2
2-2 種類、構成部材	・ ・ ・ ・	//
3. 標準施工要領		
3-1 ブレース補強材の取り付け	・ ・ ・ ・	3
3-2 スリングの装着	・ ・ ・ ・	//
3-3 吊りボルトへの取り付け	・ ・ ・ ・	4
3-4 ロックが不完全な場合	・ ・ ・ ・	//
3-5 脱着金具の使用方法	・ ・ ・ ・	5

取扱注意事項

取扱事故防止のため下記事項をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

1. 搬入時、鋼製下地材は滑りやすいので、資材の落下やずり落ちが起きぬよう事前の対策を充分にたて、**かた**や腰痛の防止を行って下さい。（現場での小運搬は無理のないようご注意下さい。）
2. 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時には**バリ**も生じやすいので手を傷つけないようにして下さい。（皮革製の保護手袋を着用して下さい。）
3. 素手による取り扱い、または素肌の露出部は**かた**をするおそれがありますのでご注意下さい。（素肌はなるべくさけるような服装にして下さい。）
4. 梱包用スチールバンド[®]および針金等の切断時ははねあがり等による**かた**が生じますのでご注意下さい。（梱包をとく場合は状況判断して作業して下さい。）
5. 搬入時や保管時について次のような事項にご注意下さい。
 - ① 原則として、屋内の湿気をよばない場所に保管して下さい。（やむを得ず屋外に置く場合には防水シート等をかけて下さい。）
 - ② 製品は、地面に直接置かないで平らなところにかい木をして水平に置き、積み重ねる場合は間木を施して荷崩れを起こさないように置いて下さい。
 - ③ クレーン荷揚げ等の運搬に際しては、布製平型吊りバンド[®]を使用するなど製品の角や表面の損傷にご注意下さい。また、製品の上に重い物を乗せないで下さい。

施工上の注意事項

1. MCブレースⅡの取り付け位置は、吊りボルト1本につき1ヵ所かつ吊りボルト頂部・スラブ底面に達するものとし、固定角度は天井面に対して30°～60°程度で設置してください。
2. ブレース補強材は水平震度、フロア高さ等によって変わります。条件に適したブレース補強材をご使用ください。
3. ストッパーがロックされると**カチン**と音がして固定片と**かた**一部の下面が同面になります。ただし、ロックされた事が確認出来ない場合や**スリグ**が途中で切れたり抜けたりしてロックが不十分な場合は、野縁受け等で**かた**一部を上押し上げ、完全にロックさせてください。また取り外しも無理に外そうとすると破損・変形の恐れがありますので必ず脱着金具で取り外してください。

MCブレースⅡの施工動画が見られます！
詳しくはこちら →
(QRコードを読み取って下さい)



動画用QRコード

※ 製品改良の為、予告なく形状・寸法等変更することがあります。
※ 無断での複製、転載禁止。

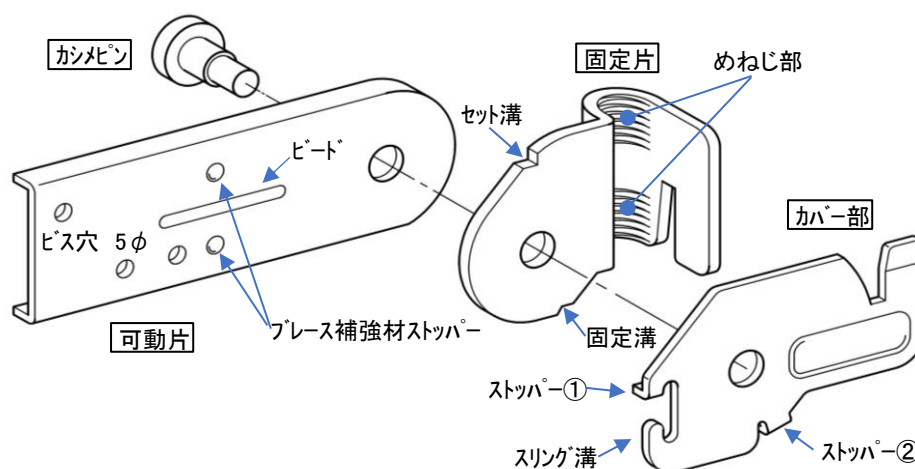
1. 適用範囲

この施工要領書は、天井下地組における耐震補強として、ブレス補強材を吊りボルト頂部に取り付ける際に使用する「MCブレスII」について規定する。

2. 各部の名称・種類、構成部材

2-1 各部の名称 各部の名称を図1に示す。

図1. 各部の名称



2-2 形状・寸法及び構成部材 MCブレスIIの種類と構成する部材を表1.に示す。

表1. 形状・寸法及び構成部材

名称	MCブレスII	適合ブレス補強材
形状・寸法	<p>120個入/12kg</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ □-38x12(t1.2,t1.6) ▪ □-40x20(t1.6) ▪ プレスバー(C-25x25x5x1.0) ▪ C-40x20x10(t1.6) ▪ C-40x30x10(t1.4) ▪ C-45x30x10(t1.4) ▪ C-50x30x10(t1.4) ▪ C-60x30x10(t1.4,t2.3) ▪ C-65x30x10(t1.4,t2.3)
適合吊りボルト	W3/8	
取り付けビス	ドリルねじ 4×16	

※ スリング8m(取り付け用)1本、脱着金具1個標準装備

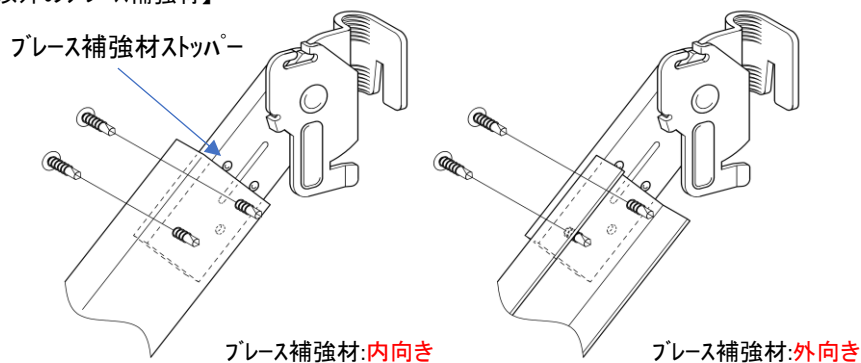
3. 標準施工要領

3-1 ブレース補強材の取り付け

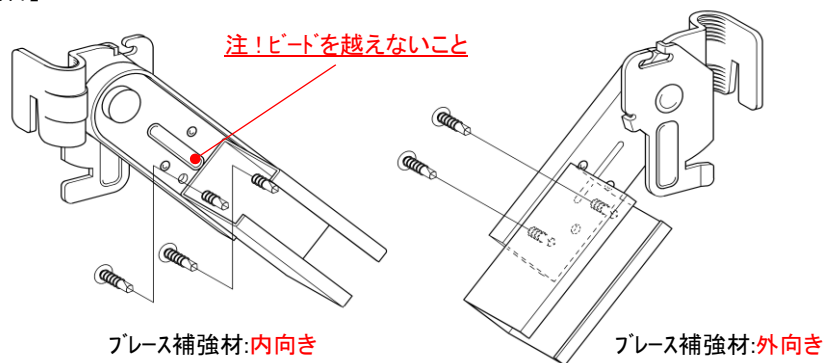
ブレース補強材の先端にMCブレースⅡをビス止めする。取り付ける際は、可動片外側の凸部にブレース補強材先端部を突き当てて図2. のように2本ずつビス止めする。(ドリルねじ 4×16) ブレスバーは取り付け方法が若干違う為、注意すること。

図2. ビス止め詳細

【ブレスバー以外のブレース補強材】



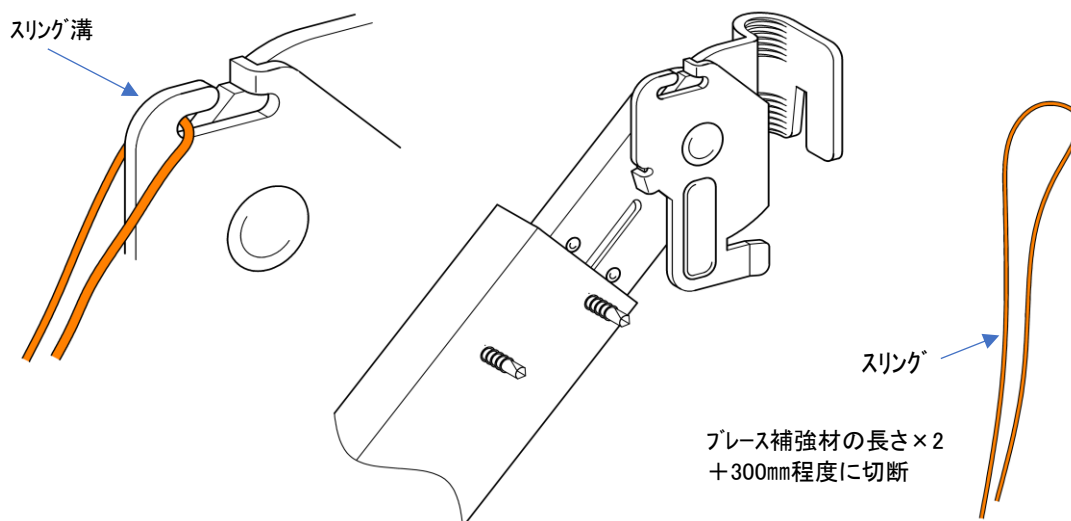
【ブレスバーの場合】



3-2 スリングの装着

MCブレースⅡの設置に使用するスリングは、ブレース補強材の長さ×2+300mm程度に切断し、スリング中央部をかバー部のスリング溝に引っ掛ける。

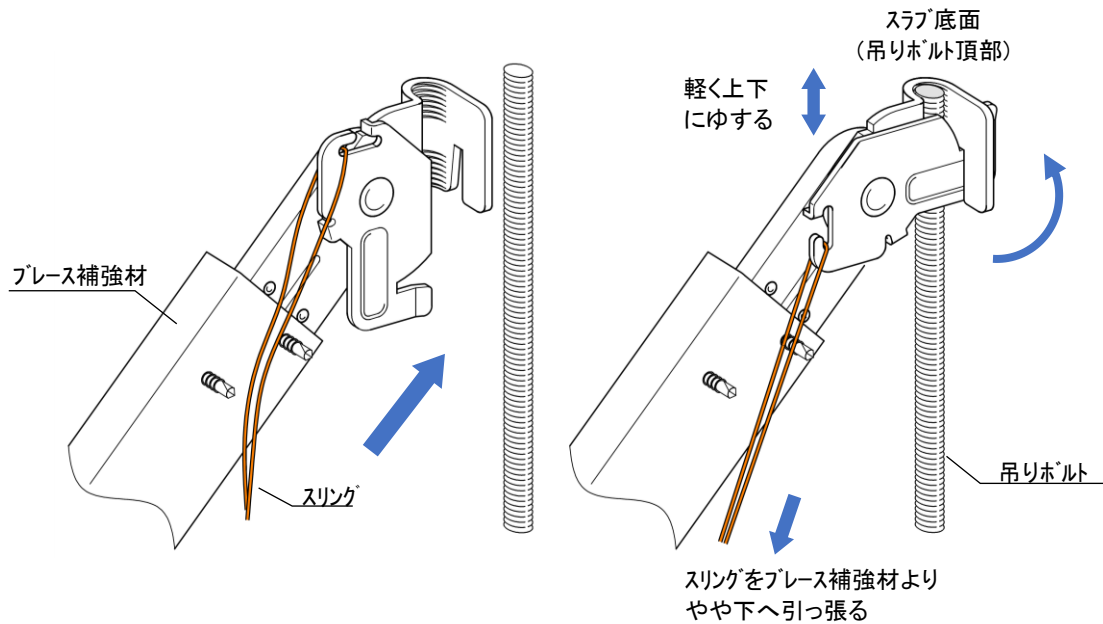
図3. スリングの掛け方



3-3 吊りボルトへの取り付け

- 3-3-1 かバー部のスリング溝にスリングを通してブレース補強材と一緒に持ち、設置する吊りボルト頂部、スラブ底面に固定片が当たるまでピンポイントで持っていく。
- 3-3-2 MCブレースⅡの固定片がスラブ底面（吊りボルト頂部）に当たったら吊りボルトに沿って数回軽く上下にゆすりめねじ部に馴染ませる。
- 3-3-3 固定片のめねじ部に馴染んだらスリングを2本同時にブレース補強材よりやや下へ引っ張る。かバー部分が回転しストッパーがパチンとロックされたらスリングの片側を引き抜き完了。

図4. 取り付け

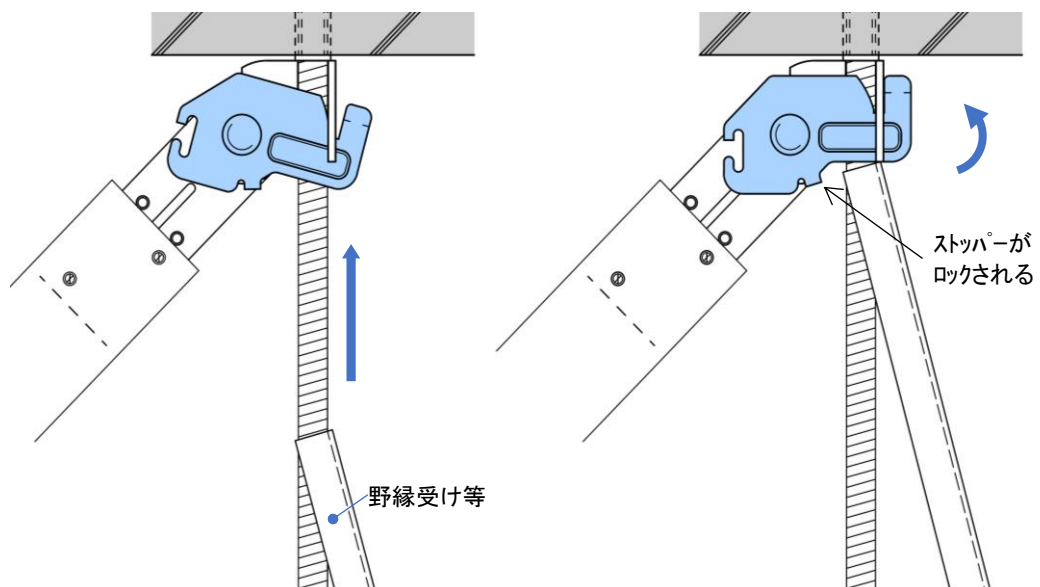


注意！ 吊りボルトに嵌めるまではスリングは絶対に引っ張らない事

3-4 ロックが不十分な場合

スリングが途中で切れたり抜けたりしてかバー部のロックが不十分な場合は、野縁受け等でかバー部を上押し上げ、完全にロックさせること。

図5. かバー部のロックが不十分な場合



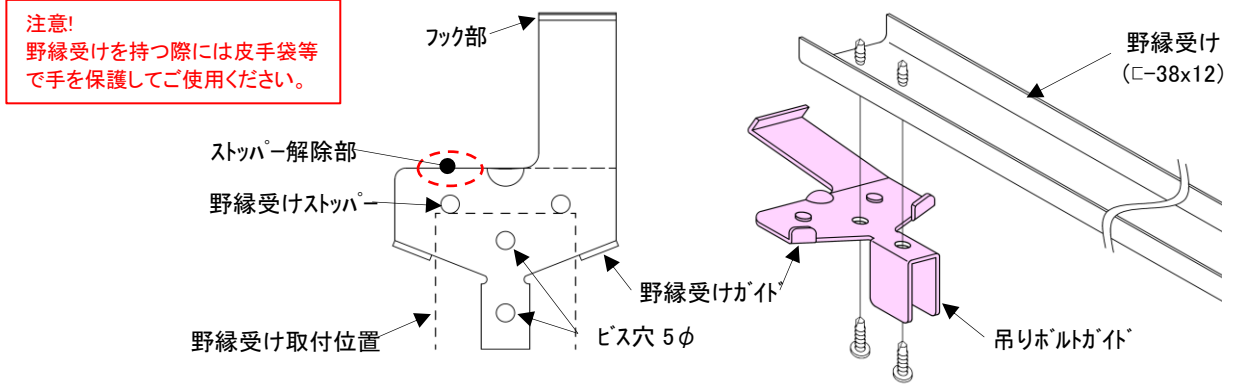
3-5 脱着金具の使用方法

仕様変更等でMCブレスIIを取り外す場合、高所での作業なので事故防止の為、脱着金具を使用して安全に行うこと。

3-5-1 脱着金具の取り付け

野縁受け (C-38x12) を吊元まで届く位に切断し、図6のように付属の脱着金具をビスで取り付ける。

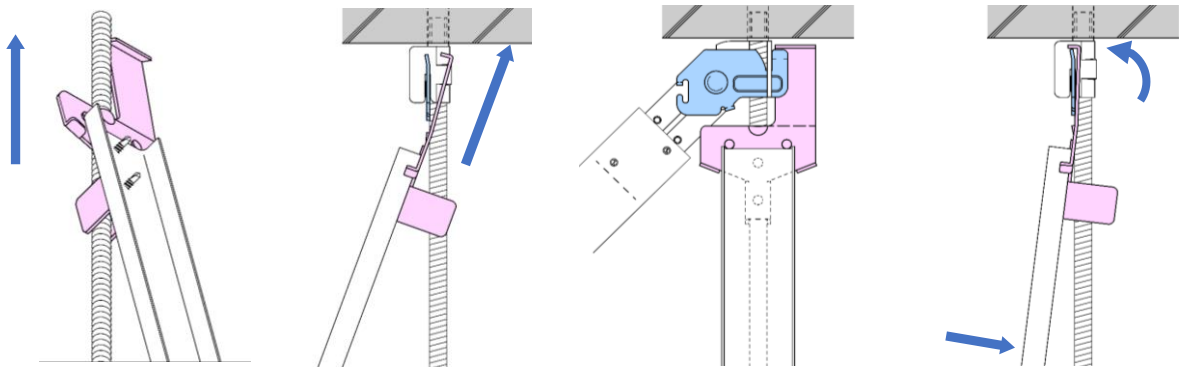
図6. 脱着金具の取り付け



3-5-2 取り外し手順 ①～②の要領で取り外す。

図7. 取り外し手順

- ①) 設置したブレス補強材に対して直角方向から天井スラブに当たるまで吊りボルトに沿って上げる。 ②) 野縁受けの持ち手を吊りボルトに押し当てるようにして脱着金具のフック部をかへ部に引っ掛ける。



- ③) フック部を引っ掛けたまま野縁受けを下に引っ張る。1回で外れない場合は④～⑤を繰り返してかへ部を90°回転させる。 ④) MCブレスIIが下まで下がってきたらかへ部を手で回転させ、固定片のセット溝にストッパー①を嵌め込むとボルトから完全に外れる。

